

(様式4-1)

平成25年度
「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験（芸術家派遣）」
「対話・創作・表現活動等を取り入れた児童生徒の人間関係形成能力等の育成に資する教育活動に関する実践研究（専門家派遣）」
経費計画書

都道府県・政令指定都市名	
開催校名	

開催日	1回目	月	日	2回目	月	日	3回目	月	日	4回目	月	日
	5回目	月	日	6回目	月	日	7回目	月	日	8回目	月	日
	9回目	月	日	10回目	月	日	11回目	月	日	12回目	月	日

※ 開催日未確定の場合も、「月 日」欄に開催予定時期(例:「10月上旬」)を記入すること。

【謝金】

回数	講師			補助者									合計
	35,000円/回			演奏者 6,400円/時間			実技指導者 5,300円/時間			単純労務者 980円/時間			
	氏名	回数	小計	氏名	時間	小計	氏名	時間	小計	氏名	時間	小計	
1		1										0	0円
2		1										0	0円
3		1										0	0円
4		1										0	0円
5		1										0	0円
6		1										0	0円
7		1										0	0円
8		1										0	0円
9		1										0	0円
10		1										0	0円
11		1										0	0円
12		1										0	0円
延べ人数													
謝金合計(A)													0円

※ 謝金の額は「平成25年度文部科学省諸謝金単価基準」に基づくものであり、変更となる場合がある。

※ 各回における補助者の時間に1時間未満の端数がある場合、30分以上は1時間に切り上げて記入・計算し、30分未満は切り捨てて計上しないこと。

【旅費】

区分	積算	合計	備考
講師に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおり)	円	
補助者に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおり)	円	
旅費合計(B)		0円	

※ 様式4-2「被派遣者旅費計算書」を添付すること。

※ 「合計」欄には、予定している講師及び補助者について人数分作成した様式4-2「被派遣者旅費計算書」の総合計を記入すること。

【事業の実施に係る経費】

項目	単価	数量(単位)	合計
	円	()	0円
	円	()	0円
	円	()	0円
	円	()	0円
	円	()	0円
	円	()	0円
事業の実施に係る経費合計(C)			0円

※ 事業の実施に係る経費の根拠書類(申請の際は見積書・実施報告時は請求書等)を添付すること。

※ 事業の実施に係る経費として物品等を購入する場合は、購入(予定)物品の状況が分かる根拠書類(見積書, カタログの写し等)を添付すること。

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。

総合計(A+B+C)

0円

(様式 4-2)

平成25年度
 「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験（芸術家派遣）」
 「対話・創作・表現活動等を取り入れた児童生徒の人間関係形成能力等の育成に資する教育活動に関する実践研究（専門家派遣）」
 被派遣者旅費計算書

		都道府県・政令指定都市名	
派遣先	学校名		所在地
			最寄駅
被派遣者	氏名		出発地住所
	本名		
	芸名		
		最寄駅	

合 計 (a+b+c+d)
0 円

日付	移動区間		交通機関名 <small>※航空機・JR・私鉄・船・バス等</small>	距離 (km)	運賃 (乗車券)	特急・急行料金	交通費小計	車賃			日当	宿泊料	宿泊地	備考
	出発地	到着地						距離 (km)	単価	小計				
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
		~												
合計								a 0		b 0	c 0	d 0		

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。
 ※ 申請時において、「日付」欄が記入できない場合は、開催予定時期(例:10月上旬)を記入し、「曜日」欄は空欄にしておくこと。
 ※ 飛行機や船舶による移動における「出発地」と「到着地」の間の「距離」欄は記入を省略することができる。
 ※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、「被派遣者」の「氏名」欄に「補助者①」のように記入すること。
 ※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、講師(主指導者)となる芸術家や専門家と相談の上、補助者の派遣を依頼する可能性の高い法人又はEが所在する地域を起点とすること。

平成25年度
「対話・創作・表現活動等を取り入れた児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験（芸術家派遣）」
「対話・創作・表現活動等を取り入れた児童生徒の人間関係形成能力等の育成に資する教育活動に関する実践研究（専門家派遣）」
経費計画書

※ 経費計画書(様式4-1)は、開催校が作成し、申請時に様式2~3とあわせてご提出ください。

都道府県・政令指定都市名	〇〇県
開催校名	〇〇小学校

開催日	1回目	11月13日	2回目	11月20日	3回目	11月27日	4回目	月 日
	5回目	月 日	6回目	月 日	7回目	月 日	8回目	月 日
	9回目	月 日	10回目	月 日	11回目	月 日	12回目	月 日

※ 開催日未確定の場合も、「月 日」欄に開催予定時期(例:「7月上旬」)を記入すること。

【謝金】

回数	講師			補助者									合計
	35,000円/回			演奏者 6,400円/時間			実技指導者 5,300円/時間			単純労務者 980円/時間			
	氏名	回数	小計	氏名	時間	小計	氏名	時間	小計	氏名	時間	小計	
1	●●●●	1	35,000	△△△△	2	12,800	〇〇〇〇	2	21,200			0	69,000 円
2	△△△△	1	35,000	〇〇〇〇	2	12,800	●●●●	2	21,200			0	69,000 円
3	〇〇〇〇	1	35,000	●●●●	2	12,800	△△△△	2	21,200			0	69,000 円
4		1	0			0			0			0	0 円
5		1	0			0			0			0	0 円
6		1	0			0			0			0	0 円
7		1	0			0			0			0	0 円
8		1	0			0			0			0	0 円
9		1	0			0			0			0	0 円
10		1	0			0			0			0	0 円
11		1	0			0			0			0	0 円
12		1	0			0			0			0	0 円
延べ人数													
謝金合計 (A)												207,000 円	

※ 謝金の額は「平成25年度文部科学省諸謝金単価基準」に基づくものであり、変更となる場合がある。

※ 各回における補助者の時間「合計」欄には、人数分作成した様式4-2「被派遣者旅費計算書」の総合計を入力してください。算し、30

単純労務者が交通費を申請する場合は、「備考」欄に理由を記入してください。

【旅費】

区分	積算	合計	備考
講師に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおり)	126,540 円	
補助者に係る分	(様式4-2「被派遣者旅費計算書」のとおり)	63,000 円	
旅費合計 (B)		189,540 円	

※ 様式4-2「被派遣者旅費計算書」を添付すること。

※ 「合計」欄には、予定している講師及び補助者について人数分作成した様式4-2「被派遣者旅費計算書」の総合計を記入すること。

【事業の実施に係る経費】

項目	単価	数量(単位)	合計
楽器運搬費(△△~〇〇小学校)	5,000 円	3 (回)	15,000 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
	円	()	0 円
実技指導に係る経費合計 (C)			15,000 円

※ 事業の実施に係る経費の根拠書類(申請の際は見積書・実施報告時は請求書等)を添付すること。

※ 事業の実施に係る経費として物品等を購入する場合は、購入(予定)物品の状況が分かる根拠書類(見積書, カタログの写し等)を添付すること。

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。

総合計 (A+B+C)

411,540 円

平成25年度
「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験（芸術家派遣）」
「対話・創作・表現活動等を取り入れた児童生徒の人間関係形成能力等の育成に資する教育活動に関する実践研究（専門家派遣）」
被派遣者旅費計算書

		都道府県・政令指定都市名	〇〇県
派遣先	学校名	所在地	最寄駅
	△△市立〇〇小学校	△△市〇〇町1-2-3	〇〇バス △△駅
被派遣者	氏名	出発地住所	最寄駅
	本名	△△市〇〇町3-2-1	〇〇鉄道 △△駅
	芸名		

合計 (a+b+c+d)
126,540 円

バス代は車賃ではなく、運賃(乗車券代)に記入してください。

日付	移動区間		交通機関名 ※航空機・JR・私鉄・船・バス等	距離 (km)	運賃 (乗車券)	特急・急行料金	交通費小計	車賃			日当	宿泊料	宿泊地	備考
	出発地	到着地						距離 (km)	単価	小計				
11月13日	〇〇	△△	JR	513.6	7,980	5,240	13,220				2,200	10,900	京都市内	
11月13日	△△	〇〇	△△市交通局バス	5.0	220		220							
11月14日	〇〇	△△	△△市交通局バス	5.0	220		220				2,200			
11月14日	△△	〇〇	JR	513.6	7,980	5,240	13,220							
11月20日	〇〇	△△	JR	513.6	7,980	5,240	13,220				2,200	10,900	京都市内	
11月20日	△△	〇〇	△△市交通局バス	5.0	220		220							
11月21日	〇〇	△△	△△市交通局バス	5.0	220		220				2,200			
11月21日	△△	〇〇	JR	513.6	7,980	5,240	13,220							
11月27日	〇〇	△△	JR	513.6	7,980	5,240	13,220				2,200	10,900	京都市内	
11月27日	△△	〇〇	△△市交通局バス	5.0	220		220							
11月28日	〇〇	△△	△△市交通局バス	5.0	220		220				2,200			
11月28日	△△	〇〇	JR	513.6	7,980	5,240	13,220							
合計								80,640 ^a			13,200 ^c	32,700 ^d		

〇 各都道府県・政令指定都市で定められた旅費に関する条例等により算出された金額の範囲内となります。ただし、日当を減額することなく、旅費計算の起点は講師・補助者の現住所最寄りの交通機関としていただくようお願いします。
〇 一枚の用紙に複数回分を記入しても構いません。必要に応じて行の挿入を行ってください。

※ 記入欄が不足する場合は、適宜追加すること。
※ 申請時において、「日付」欄が記入できない場合は、開催予定時期(例:10月上旬)を記入し、「曜日」欄は空欄にしておくこと。
※ 飛行機や船舶による移動における「出発地」と「到着地」の間の「距離」欄は記入を省略することができる。
※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、「被派遣者」の「氏名」欄に「補助者①」のように記入すること。
※ 申請時において、補助者が決まっていない場合は、講師(主指導者)となる芸術家や専門家と相談の上、補助者の派遣を依頼する可能性の高い法人又は個人が所在する地域を起点とすること。